資料４

最新の人口動態

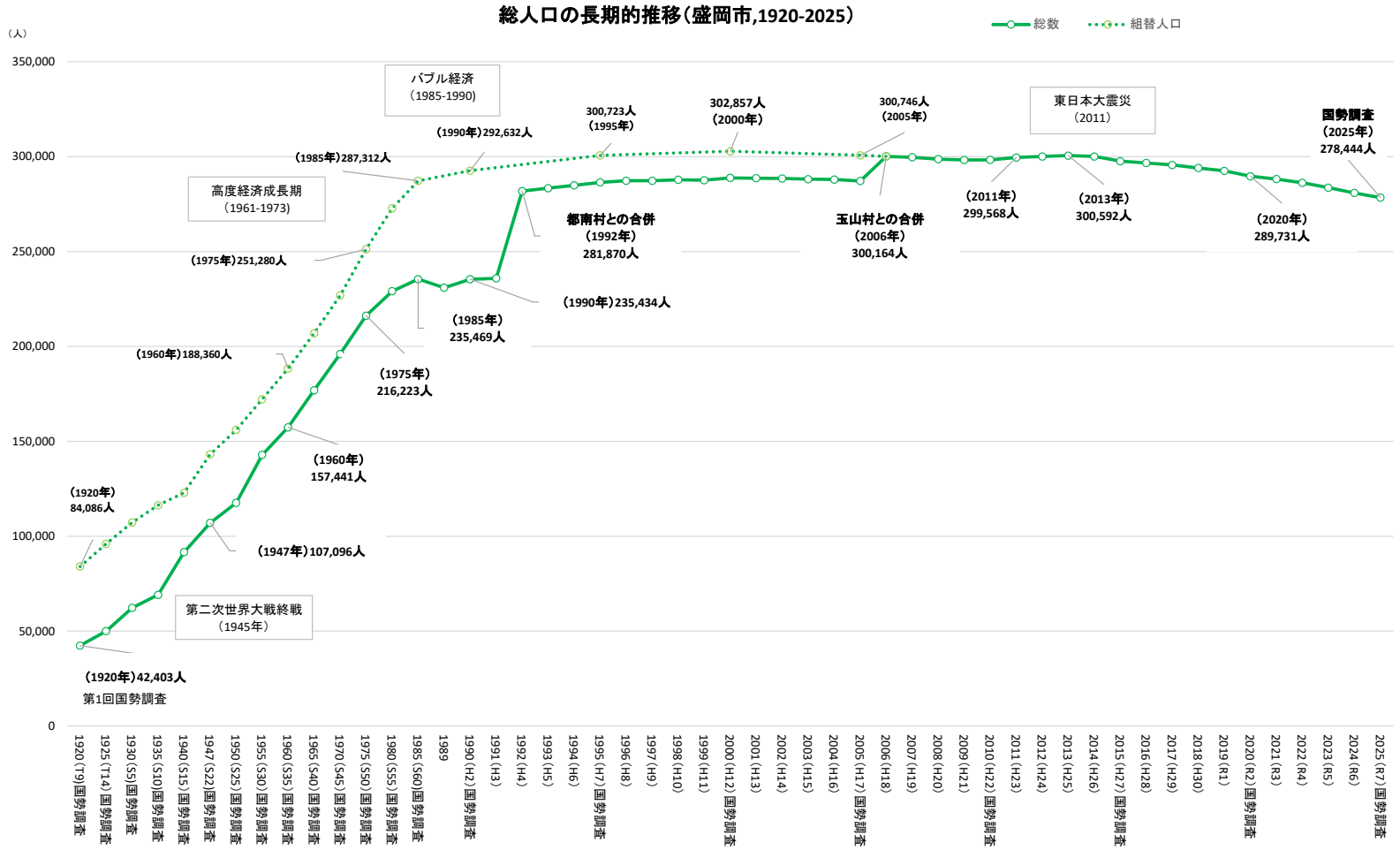
【目　次】

１　最新の人口動態
(1) 総人口の長期的推移 ･･･ P1
(2) 年齢３区分別人口の推移 ･･･ P2
(3) 自然増減･社会増減の推移（日本人住民） ･･･ P3
(4) 合計特殊出生率の推移 ･･･ P4
(5) 地域ブロック別の社会増減の内訳（男女別） ･･･ P5
(6) 将来推計人口（社人研･盛岡市）と実人口比較 ･･･ P6
(7) 東北中核市の人口推移と増減率比較 ･･･ P7
(8) 東北中核市の社会増減及び自然増減 ･･･ P8
(9) 全国中核市　人口減少率比較（５年単位） ･･･ P9
(10) 東北中核市の出生数及び死亡数比較 ･･･ P10
(11) 東北中核市の転入数及び転出数比較 ･･･ P11

２　（参考）若年層の人口動態に関する調査結果（中間報告）
(1) 調査の概要 ･･･ P12
(2) 調査の視点 ･･･ P13
(3) 総括（中間報告） ･･･ P14
(4) 他自治体の取組事例 ･･･ P15

(1) 総人口の長期的推移

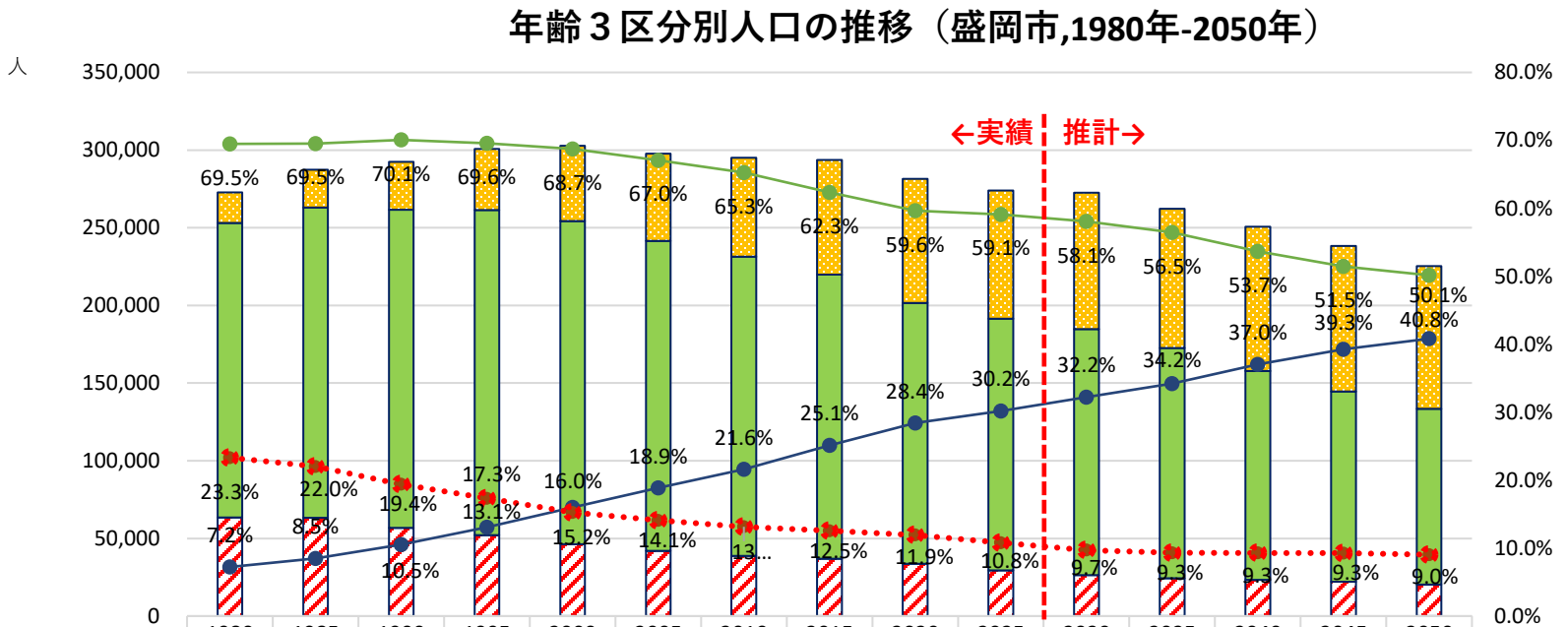
■ 本市の人口は、平成*4*（*1992*）年の都南村との合併、平成*18*（*2006*）年の玉山村との合併を経て、長期的に増加を続けてきた。合併前の村を含めた組替人口*では平成*12*（*2000*）年がピークだった。
■ 平成*17*（*2005*）年から減少傾向に転じたが、東日本大震災が発生した平成*23*（*2011*）年以降、沿岸部からの避難者等の転入により一時的に微増した。
■ 平成*27*（*2015*）年以降は減少が加速し、現在に至るまで減少が続いている。
■ 全国では平成*20*（*2008*）年をピークに総人口が減少しており、全国よりも*8*年早く減少局面に入っている。（組替人口との比較）



資料：国勢調査、岩手県人口移動報告年報（10月１日現在　推計人口）https://www3.pref.iwate.jp/webdb/view/outside/s14Tokei/tyosaBtKekka.html/I002
*組替人口…合併前の都南村・玉山村を含んだ人口

(2) 年齢３区分別人口の推移

■主要な働き手となる生産年齢人口（15～64歳）の割合が減少する一方で、老年人口（65歳以上）の割合が継続的に増加している。
■平成27（2015）年から令和７（2025）年にかけて、生産年齢人口は総人口の62.3%から59.1%へ減少し（3.2ポイントの減（△21,143人））、老年人口は総人口の25.1%から30.2%へ増加した。（5.1ポイントの増（+8,895人））
■令和32（2050）年には、老年人口の割合が総人口の4割に高まる一方、生産年齢人口は5割に低下する見通しで、労働力不足の深刻化などが懸念される。

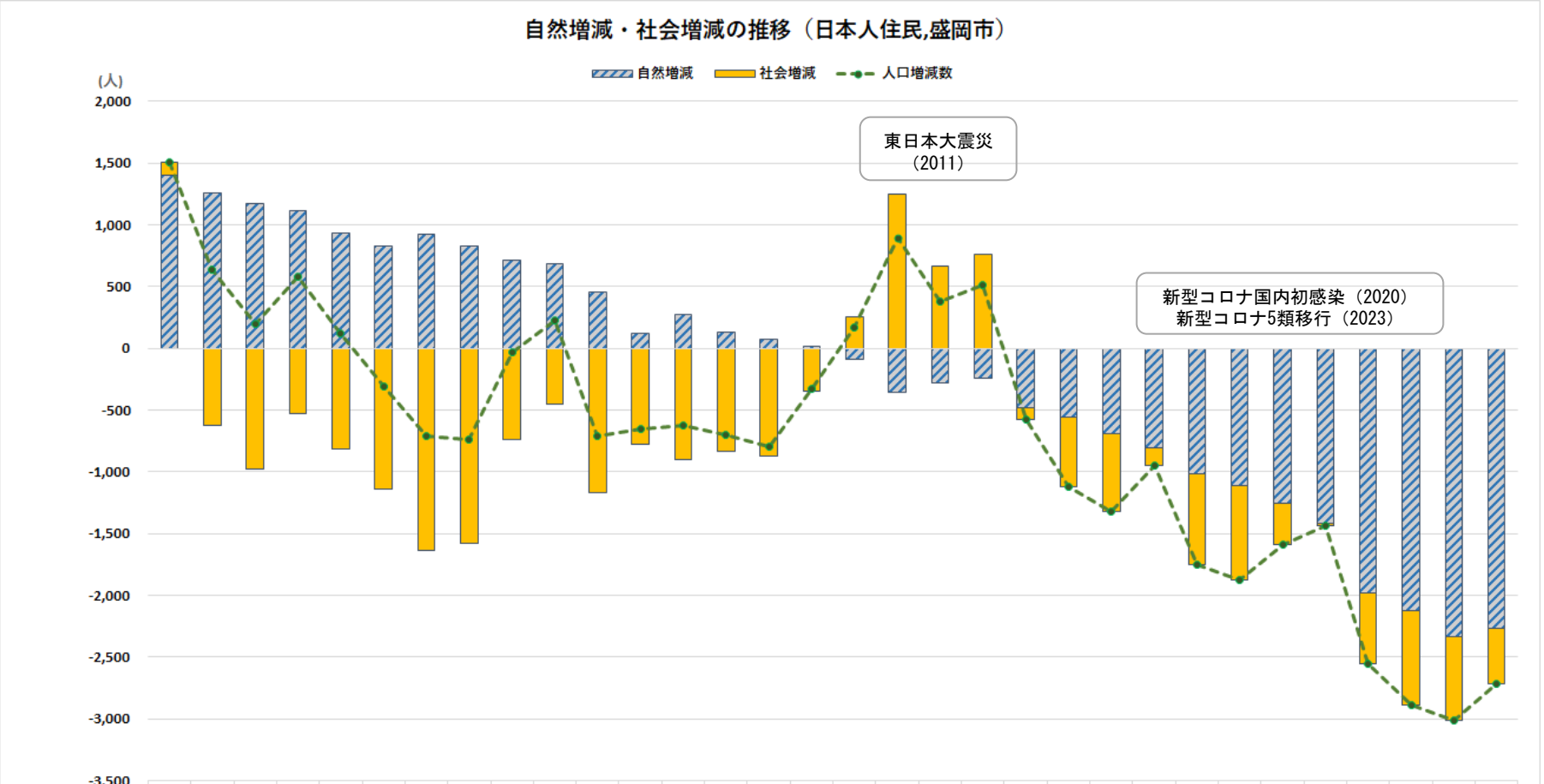


	1980	1985	1990	1995	2000	2005	2010	2015	2020	2025	2030	2035	2040	2045	2050
老年人口	19,700	24,316	30,826	39,341	48,469	56,177	63,721	73,729	80,035	82,624	87,892	89,698	92,862	93,549	91,975
生産年齢人口	189,456	199,774	204,943	209,262	208,171	199,632	192,664	182,979	167,894	161,836	158,295	148,084	134,527	122,618	113,000
年少人口	63,566	63,222	56,718	52,092	46,159	41,928	38,771	36,828	33,602	29,517	26,455	24,423	23,272	22,057	20,358
生産年齢人口割合	69.5%	69.5%	70.1%	69.6%	68.7%	67.0%	65.3%	62.3%	59.6%	59.1%	58.1%	56.5%	53.7%	51.5%	50.1%
老年人口割合	7.2%	8.5%	10.5%	13.1%	16.0%	18.9%	21.6%	25.1%	28.4%	30.2%	32.2%	34.2%	37.0%	39.3%	40.8%
年少人口割合	23.3%	22.0%	19.4%	17.3%	15.2%	14.1%	13.1%	12.5%	11.9%	10.8%	9.7%	9.3%	9.3%	9.3%	9.0%

資料：（～2025年）国勢調査（合併前の数値を含む組替人口（1992年 旧都南村、2006年 旧玉山村）、市統計書　（年齢不詳を除く。端数処理の関係で割合の合計が100%とならない場合がある。）
（2030年～）*国立社会保障・人口問題研究所（社人研）「日本の地域別将来推計人口 （2023年推計・市町村別）」https://www.ipss.go.jp/pp-shicyoson/j/shicyoson23/2gaiyo_hyo/gaiyo.asp

(3) 自然増減･社会増減の推移（日本人住民）

■自然動態は、出生者数の減少（少子化）と死亡者数の増加（高齢化）が同時に進行し、長期的に減少している 。
■社会動態は、平成7（1995）年以降転出超過が継続していたが、東日本大震災後の平成23（2011）年以降、沿岸部からの避難等により一時的に転入超過となる。平成26（2014）年頃より再び転出超過に転じ、令和2（2020）年～令和3（2021）年はコロナ禍の影響で転出超過数が一時的に減少したが、令和5（2023）年以降はコロナ禍前の水準で転出超過が推移している。

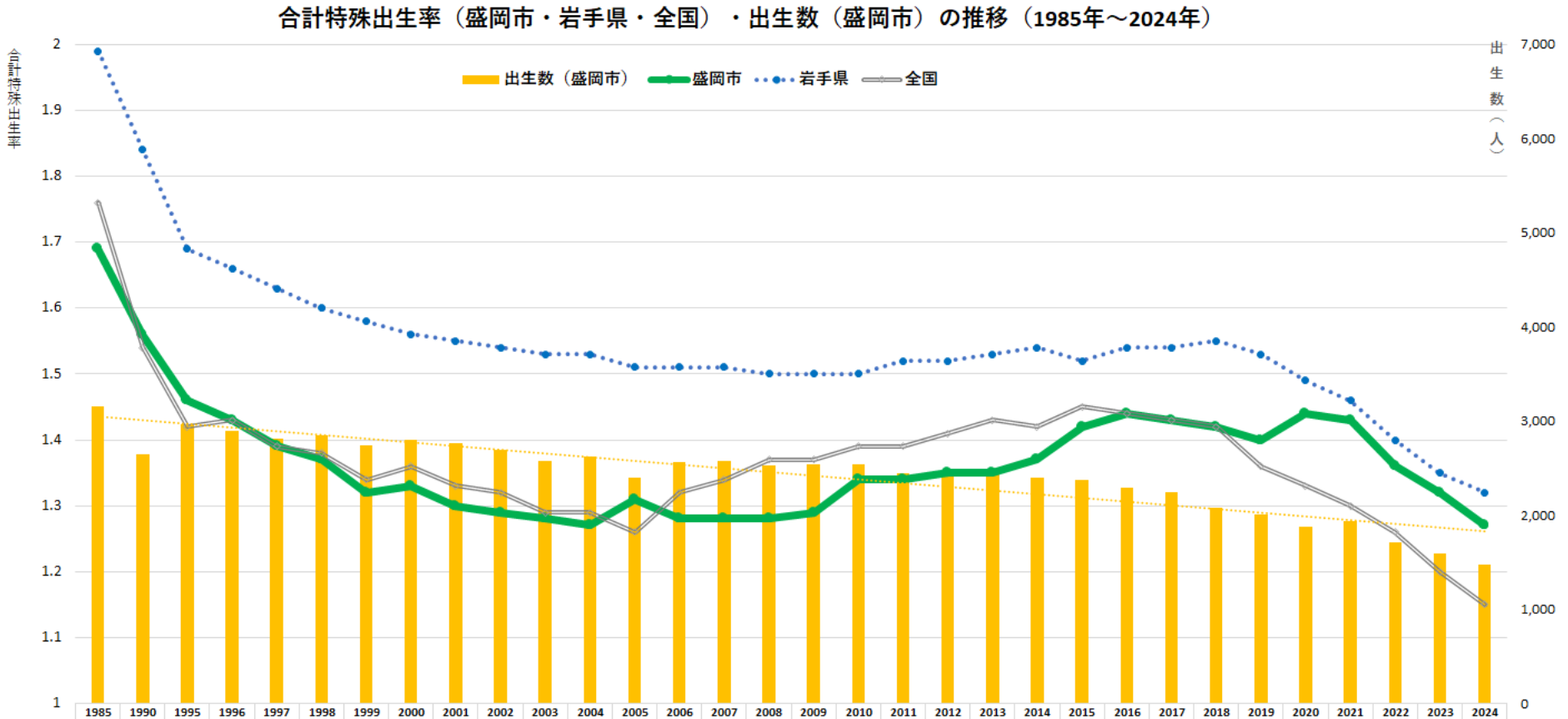


	1994 (H6)	1995 (H7)	1996 (H8)	1997 (H9)	1998 (H10)	1999 (H11)	2000 (H12)	2001 (H13)	2002 (H14)	2003 (H15)	2004 (H16)	2005 (H17)	2006 (H18)	2007 (H19)	2008 (H20)	2009 (H21)	2010 (H22)	2011 (H23)	2012 (H24)	2013 (H25)	2014 (H26)	2015 (H27)	2016 (H28)	2017 (H29)	2018 (H30)	2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)	2025 (R7)
社会増減	102	-622	-981	-530	-810	-1136	-1632	-1574	-740	-452	-1168	-778	-896	-833	-875	-347	259	1,254	665	762	-94	-567	-635	-145	-742	-762	-336	-21	-576	-763	-681	-445
自然増減	1,401	1,262	1,176	1,115	930	825	923	833	710	682	458	123	275	130	76	21	-88	-354	-283	-244	-479	-556	-689	-801	-1,013	-1,109	-1,255	-1,418	-1,977	-2,127	-2,331	-2,266
人口増減数	1,503	640	195	585	120	-311	-709	-741	-30	230	-710	-655	-621	-703	-799	-326	171	900	382	518	-573	-1,123	-1,324	-946	-1,755	-1,871	-1,591	-1,439	-2,553	-2,890	-3,012	-2,711

資料：総務省「住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯数調査」（社会増加数･自然増加数）　各年１月～12月　合併前の旧玉山村を含む組替人口
https://www.e-stat.go.jp/stat-search/files?page=1&toukei=00200241

(4) 合計特殊出生率の推移

■ 本市の合計特殊出生率は長期にわたり減少傾向だったが、平成17（2005）年頃から上昇し平成27（2015）年には1.4人台に回復、その後再び下降傾向にある。
■ 令和6（2024）年の盛岡市の合計特殊出生率は1.27で、岩手県の1.32を下回っているが全国の1.15を上回っている。
■ 出生数は令和２（2020）年から2,000人を割り込む状態になり、減少が加速している。



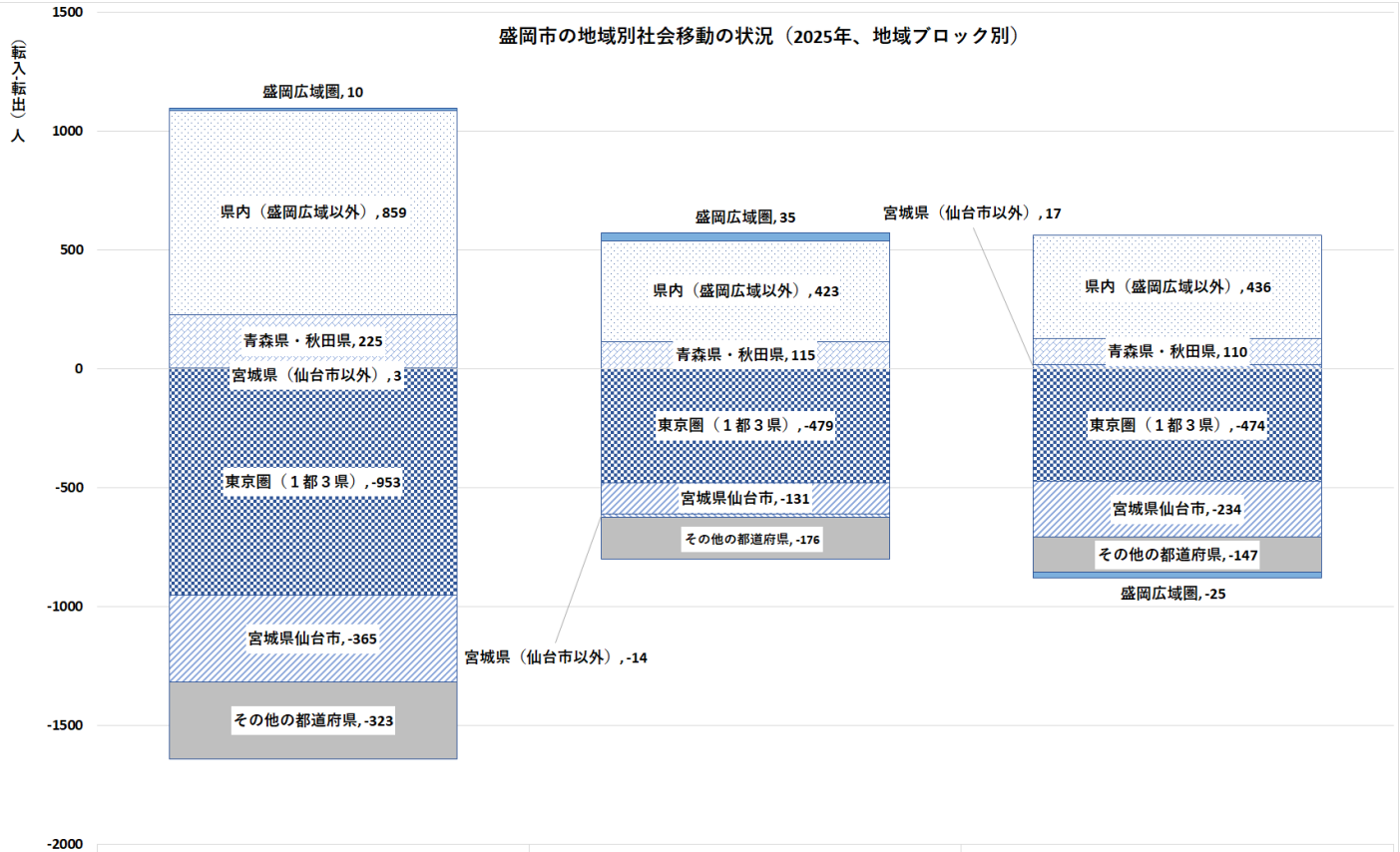
	1985 (S60)	1990 (H2)	1995 (H7)	1996 (H8)	1997 (H9)	1998 (H10)	1999 (H11)	2000 (H12)	2001 (H13)	2002 (H14)	2003 (H15)	2004 (H16)	2005 (H17)	2006 (H18)	2007 (H19)	2008 (H20)	2009 (H21)	2010 (H22)	2011 (H23)	2012 (H24)	2013 (H25)	2014 (H26)	2015 (H27)	2016 (H28)	2017 (H29)	2018 (H30)	2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
出生数（盛岡市）	3,157	2,647	2,964	2,896	2,815	2,850	2,741	2,802	2,760	2,692	2,578	2,626	2,393	2,558	2,571	2,529	2,545	2,542	2,443	2,477	2,476	2,401	2,379	2,289	2,245	2,076	2,004	1,873	1,938	1,710	1,596	1,480
盛岡市	1.69	1.56	1.46	1.43	1.39	1.37	1.32	1.33	1.3	1.29	1.28	1.27	1.31	1.28	1.28	1.28	1.29	1.34	1.34	1.35	1.35	1.37	1.42	1.44	1.43	1.42	1.4	1.44	1.43	1.36	1.32	1.27
岩手県	1.99	1.84	1.69	1.66	1.63	1.6	1.58	1.56	1.55	1.54	1.53	1.53	1.51	1.51	1.51	1.5	1.5	1.5	1.52	1.52	1.53	1.54	1.52	1.54	1.54	1.55	1.53	1.49	1.46	1.4	1.35	1.32
全国	1.76	1.54	1.42	1.43	1.39	1.38	1.34	1.36	1.33	1.32	1.29	1.29	1.26	1.32	1.34	1.37	1.37	1.39	1.39	1.41	1.43	1.42	1.45	1.44	1.43	1.42	1.36	1.33	1.30	1.26	1.20	1.15

合計特殊出生率…15歳から49歳までの女性の年齢別出生率を合計したもの（一人の女性がその年齢別出生率で一生の間に生むとしたときの子どもの数に相当）

資料：保健福祉年報　第５表人口動態実数及び率　https://www.pref.iwate.jp/kurashikankyou/hokenfukushi/toukei/index.html
（盛岡市及び岩手県は県「保健福祉年報」、全国は厚生労働省「人口動態統計」）（戸籍法により届けられた数が調査対象であり、住民票記載数に基づく出生者数とは数値が異なる）

(5) 地域ブロック別の社会増減の内訳（男女別）

■ 令和7（2025）年の本市の主な転出超過地域は、男女とも、「東京圏」「仙台市」、転入超過地域は「県内（盛岡広域以外）」「青森県・秋田県」の順で多い。
■ 男女別では、女性は男性の約1.4倍転出超過数が多い。

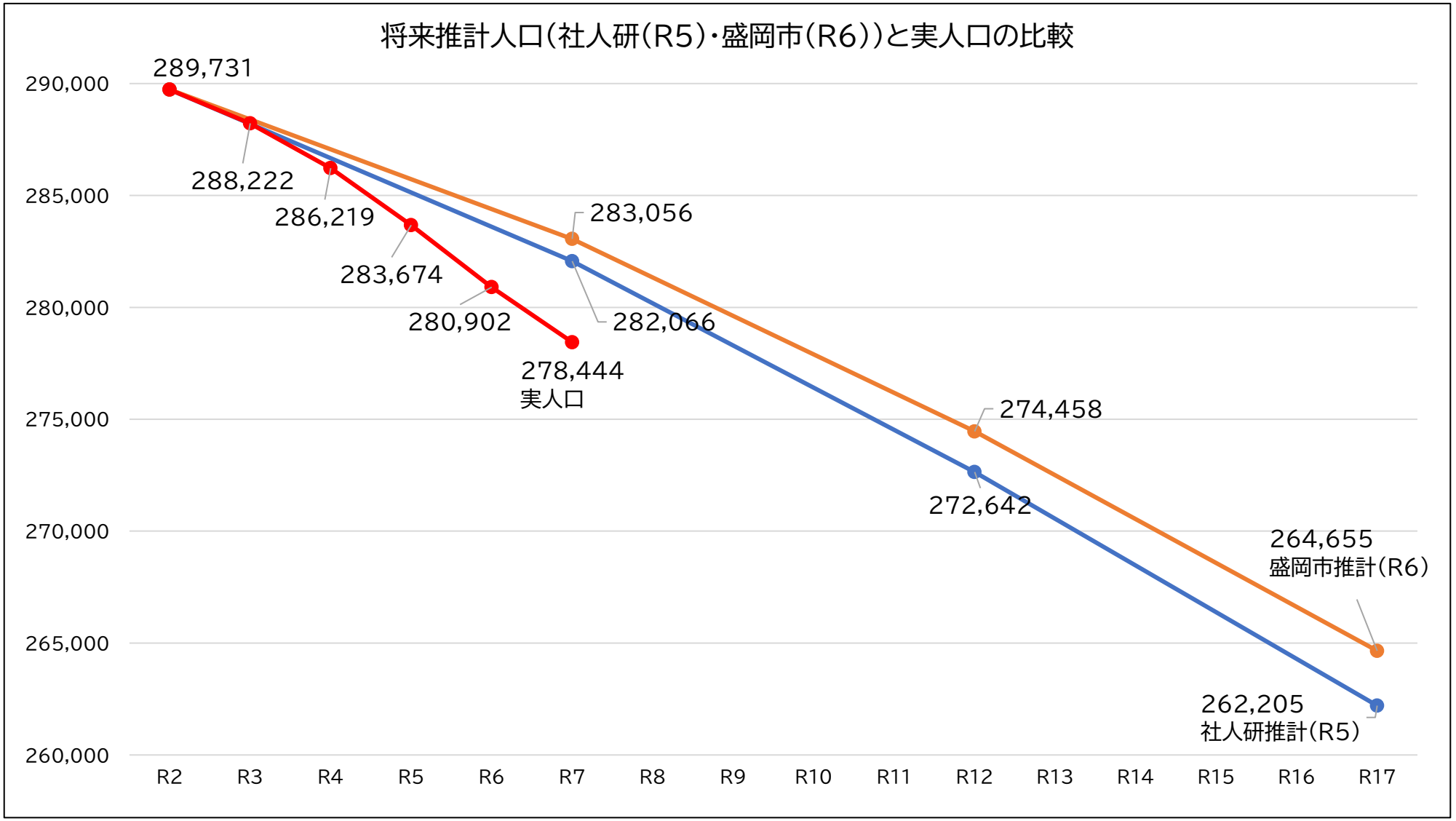


	男女計	男	女
盛岡広域圏	10	35	-25
県内（盛岡広域以外）	859	423	436
青森県・秋田県	225	115	110
その他の都道府県	-323	-176	-147
宮城県（仙台市以外）	3	-14	17
宮城県仙台市	-365	-131	-234
東京圏（１都３県）	-953	-479	-474
計	-544	-227	-317

資料：総務省「住民基本台帳人口移動報告　参考表」（年齢（10歳階級）、男女、移動前の住所別転入・移住後の住所別転出者数）
https://www.stat.go.jp/data/idou/sankouhyo.html

(6) 将来推計人口（社人研･盛岡市）と実人口比較

■ 社人研*(R5)*及び盛岡市*(R6)*が令和2年の国勢調査結果を基に作成した将来推計人口と比較し、令和7年の実人口は大きく減少している。
■ 実人口と将来推計人口の乖離が年々大きくなっており、想定を上回るペースで人口減少が加速している。



※Ｒ2及びＲ7実人口は国勢調査による確定値。その他実績値は推計人口

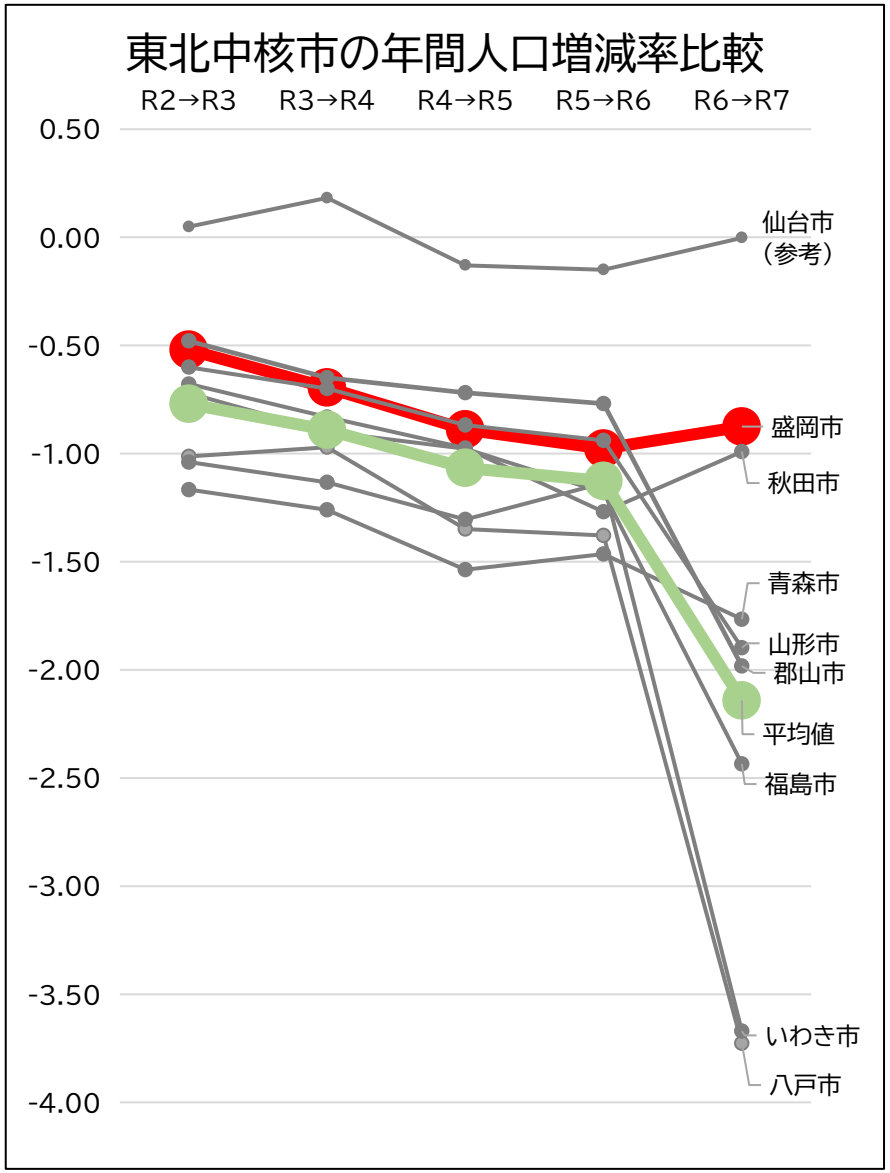
(7) 東北中核市の人口推移と増減率比較

■ 盛岡市の直近5年間(R2→R7)の人口増減率は−3.90%であり、東北中核市の中では最も良い数値であった。
■ 盛岡市の「R6→R7」の人口増減率は−0.88%であり、「R5→R6」と比較すると0.10ポイント改善され、東北中核市の中では最も良い数値であった。

中核市	人口(人)		増減率(%)					
	R2.10	R7.10	R2→R3	R3→R4	R4→R5	R5→R6	R6→R7	参考 (R2→R7)
盛岡市	289,731	278,444	-0.52	-0.69	-0.89	-0.98	-0.88	-3.90
青森市	275,192	255,953	-1.17	-1.26	-1.54	-1.47	-1.77	-6.99
八戸市	223,415	205,130	-1.01	-0.97	-1.35	-1.38	-3.73	-8.18
秋田市	307,672	293,351	-0.68	-0.83	-0.97	-1.27	-0.99	-4.65
山形市	247,590	235,431	-0.60	-0.70	-0.87	-0.94	-1.90	-4.91
福島市	282,693	265,537	-0.72	-0.90	-0.98	-1.18	-2.43	-6.07
郡山市	327,692	312,873	-0.48	-0.65	-0.72	-0.77	-1.98	-4.52
いわき市	332,931	306,165	-1.04	-1.13	-1.31	-1.14	-3.67	-8.04
仙台市（参考）	1,096,704	1,096,146	0.05	0.18	-0.13	-0.15	0.00	-0.05
平均値	285,865	269,111	-0.77	-0.89	-1.07	-1.13	-2.14	-5.86

※平均値に仙台市は含まない

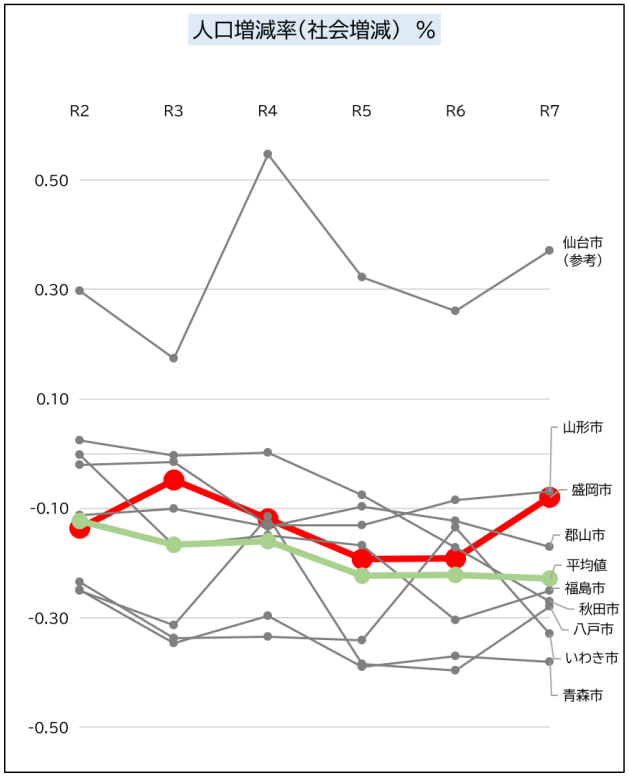
東北6県（参考）	人口(人)		増減率(%)					
	R2.10	R7.10	R2→R3	R3→R4	R4→R5	R5→R6	R6→R7	参考 (R2→R7)
岩手県	1,210,534	1,124,652	-1.18	-1.32	-1.48	-1.60	-1.73	-7.09
青森県	1,237,984	1,139,461	-1.35	-1.39	-1.65	-1.67	-2.17	-7.96
秋田県	959,502	881,470	-1.52	-1.58	-1.76	-1.89	-1.66	-8.13
山形県	1,068,027	992,297	-1.25	-1.30	-1.42	-1.51	-1.83	-7.09
福島県	1,833,152	1,710,242	-1.14	-1.27	-1.28	-1.36	-1.84	-6.70
宮城県	2,301,996	2,225,414	-0.52	-0.46	-0.70	-0.73	-0.97	-3.33
6県平均	1,435,199	1,345,589	-1.16	-1.22	-1.38	-1.46	-1.70	-6.72

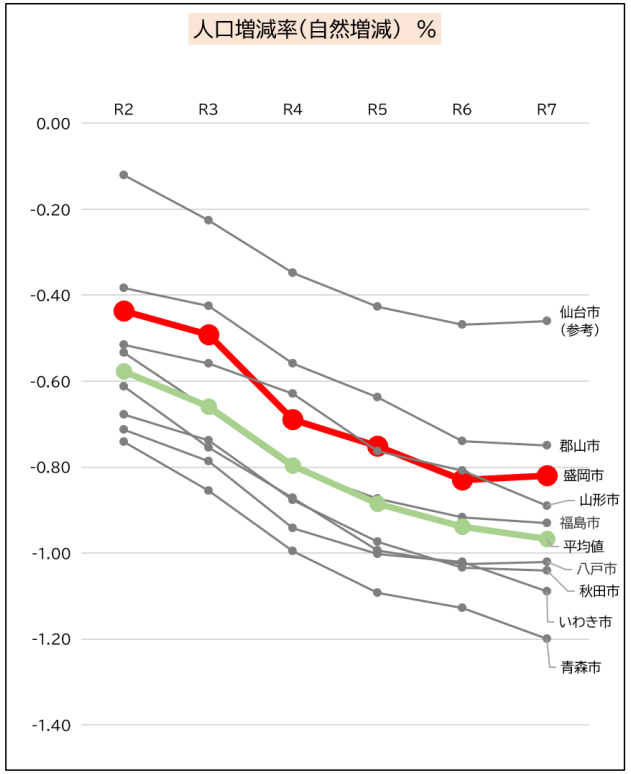


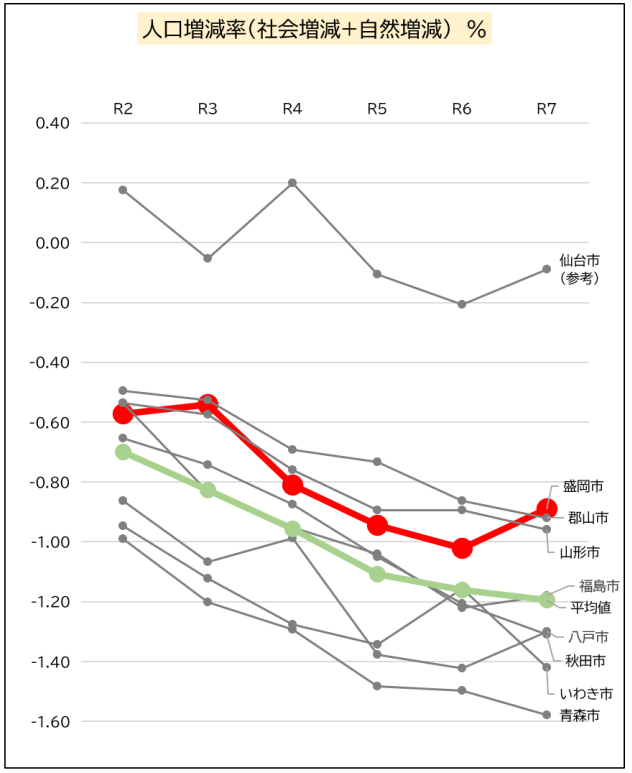
※R2、R7は国勢調査による確定値。R3～R6は国勢調査を基に算出する推計人口

(8) 東北中核市の社会増減及び自然増減

■ 盛岡市(R7)の社会増減率は、R6と比較し0.11ポイント改善され－0.08%となり、山形市に次ぐ２番目に良い数値であった。
■ 盛岡市(R7)の自然増減率は、R6と比較し0.01ポイント改善され－0.82%となり、郡山市に次ぐ２番目に良い数値であった。
■ 盛岡市(R7)の人口増減率（社会増減＋自然増減）は、R6と比較し0.13ポイント改善され－0.89%となり、東北中核市で最もよい数値であった。







	人口増減率(社会増減) %						人口増減率(自然増減) %						人口増減率(社会増減+自然増減) %					
中核市	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R2	R3	R4	R5	R6	R7
盛岡市	-0.14	-0.05	-0.12	-0.19	-0.19	-0.08	-0.44	-0.49	-0.69	-0.75	-0.83	-0.82	-0.57	-0.54	-0.81	-0.95	-1.02	-0.89
青森市	-0.25	-0.35	-0.30	-0.39	-0.37	-0.38	-0.74	-0.86	-1.00	-1.09	-1.13	-1.20	-0.99	-1.20	-1.29	-1.48	-1.50	-1.58
八戸市	-0.25	-0.31	-0.12	-0.38	-0.40	-0.28	-0.61	-0.75	-0.87	-0.99	-1.03	-1.02	-0.86	-1.07	-0.99	-1.38	-1.42	-1.30
秋田市	0.02	0.00	0.00	-0.08	-0.17	-0.27	-0.68	-0.74	-0.88	-0.97	-1.03	-1.04	-0.65	-0.74	-0.87	-1.05	-1.21	-1.31
山形市	-0.02	-0.02	-0.13	-0.13	-0.09	-0.07	-0.52	-0.56	-0.63	-0.76	-0.81	-0.89	-0.54	-0.57	-0.76	-0.89	-0.89	-0.96
福島市	0.00	-0.17	-0.15	-0.17	-0.30	-0.25	-0.53	-0.67	-0.80	-0.87	-0.92	-0.93	-0.54	-0.83	-0.95	-1.04	-1.22	-1.18
郡山市	-0.11	-0.10	-0.13	-0.10	-0.12	-0.17	-0.38	-0.43	-0.56	-0.64	-0.74	-0.75	-0.50	-0.53	-0.69	-0.73	-0.86	-0.92
いわき市	-0.23	-0.34	-0.33	-0.34	-0.14	-0.33	-0.71	-0.79	-0.94	-1.00	-1.02	-1.09	-0.95	-1.12	-1.28	-1.34	-1.16	-1.42
仙台市（参考）	0.30	0.17	0.55	0.32	0.26	0.37	-0.12	-0.23	-0.35	-0.43	-0.47	-0.46	0.18	-0.05	0.20	-0.11	-0.21	-0.09
平均値	-0.12	-0.17	-0.16	-0.22	-0.22	-0.23	-0.58	-0.66	-0.80	-0.89	-0.94	-0.97	-0.70	-0.83	-0.96	-1.11	-1.16	-1.20

※住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯数調査　（各年1月～12月分）※平均値に仙台市は含まない　※社会増減率には、職権記載及び職権消除分を含む。※外国人を含む総数

(9) 全国中核市　人口増減率比較（5年単位）

■ 全国的に中核市の人口増減率は減少している。
■ 盛岡市を含む東北中核市は全国中核市の中でも増減率が低い傾向にある。
■ 盛岡市においても、人口増減率が減少しているものの、「*H27→R2*」から「*R2→R7*」にかけて、順位は*8*位改善されており、東北中核市の中では最も良い結果であった。

中核市		R2⇒R7 順位	R2⇒R7 増減率(%)	H27⇒R2 順位	H27⇒R2 増減率(%)
広島県	呉市	1	-10.72%	1	-6.11%
北海道	函館市	2	-8.27%	2	-5.60%
青森県	八戸市	3	-8.18%	10	-3.39%
福島県	いわき市	4	-8.04%	4	-4.94%
北海道	旭川市	5	-7.25%	13	-3.03%
長崎県	佐世保市	6	-7.09%	5	-4.78%
青森県	青森市	7	-6.99%	8	-4.33%
山口県	下関市	8	-6.84%	3	-5.01%
長崎県	長崎市	9	-6.53%	6	-4.75%
福島県	福島市	10	-6.07%	9	-3.93%
神奈川県	横須賀市	11	-6.02%	7	-4.55%
高知県	高知市	12	-5.35%	12	-3.16%
島根県	松江市	13	-5.02%	27	-1.27%
山形県	山形市	14	-4.91%	17	-2.46%
鳥取県	鳥取市	15	-4.89%	14	-2.71%
秋田県	秋田市	16	-4.65%	16	-2.58%
奈良県	奈良市	17	-4.62%	23	-1.58%
福島県	郡山市	18	-4.52%	18	-2.31%
広島県	福山市	19	-4.45%	33	-0.83%
和歌山県	和歌山市	20	-4.209%	19	-2.04%
長野県	長野市	21	-4.207%	26	-1.28%
福井県	福井市	22	-4.02%	25	-1.34%
岩手県	盛岡市	23	-3.90%	15	-2.65%
長野県	松本市	24	-3.69%	-	-
富山県	富山市	25	-3.56%	29	-1.13%
岐阜県	岐阜市	26	-3.50%	31	-1.03%
大阪府	寝屋川市	27	-3.38%	11	-3.28%
愛知県	豊橋市	28	-3.27%	35	-0.76%
山梨県	甲府市	29	-3.24%	20	-1.83%
愛知県	一宮市	30	-2.97%	-	-
宮崎県	宮崎市	31	-2.93%	46	0.05%
愛媛県	松山市	32	-2.76%	36	-0.71%
岡山県	倉敷市	33	-2.69%	39	-0.53%
大阪府	八尾市	34	-2.67%	24	-1.55%
群馬県	高崎市	35	-2.55%	49	0.56%
香川県	高松市	36	-2.54%	34	-0.77%
群馬県	前橋市	37	-2.40%	28	-1.19%
兵庫県	姫路市	38	-2.38%	32	-0.96%
愛知県	豊田市	39	-2.33%	43	-0.05%
大阪府	東大阪市	40	-2.28%	21	-1.76%
福岡県	久留米市	41	-2.21%	42	-0.41%
大阪府	高槻市	42	-2.183%	47	0.25%
沖縄県	那覇市	43	-2.179%	37	-0.57%
大阪府	枚方市	44	-2.122%	22	-1.70%
鹿児島県	鹿児島市	45	-2.121%	30	-1.11%
石川県	金沢市	46	-2.08%	38	-0.53%
茨城県	水戸市	47	-1.84%	44	-0.04%
愛知県	岡崎市	48	-1.83%	50	0.95%
栃木県	宇都宮市	49	-1.45%	45	0.03%
大分県	大分市	50	-1.16%	40	-0.53%
東京都	八王子市	51	-0.85%	48	0.32%
兵庫県	西宮市	52	-0.69%	41	-0.46%
滋賀県	大津市	53	-0.63%	52	1.20%
兵庫県	尼崎市	54	-0.52%	55	1.55%
埼玉県	川口市	55	-0.43%	56	2.80%
埼玉県	越谷市	56	-0.04%	53	1.22%
埼玉県	川越市	57	0.00%	51	1.09%
大阪府	豊中市	58	0.61%	54	1.54%
兵庫県	明石市	59	0.98%	60	3.47%
千葉県	船橋市	60	1.36%	59	3.21%
千葉県	柏市	61	2.07%	58	3.02%
大阪府	吹田市	62	2.32%	57	2.96%
平均			-3.26%		-1.19%

※国勢調査による確定値。増減率は小数点第３位を四捨五入で表記(同率の場合は小数点第３位まで表示)

(10) 東北中核市の出生数及び死亡数比較

■ 盛岡市*(R7)*の出生数は、*R6*から*16*人減少したものの、増減率は－*1.07%*となり、福島市に次ぐ*2*番目に良い数値であった。
■ 盛岡市における出生数（*R2→R7*）の増減率は－*22.01%*であり、東北中核市で最も良い数値であった。
■ 盛岡市*(R7)*の自然増減数（出生数－死亡数）は－*2,264*人となり、*R6*から*64*人減少し、増減率は－*2.75%*となり、東北中核市の中で最もよい数値であった。

	出生数(人)							死亡数(人)							自然増減数(出生数－死亡数)(人)						
中核市	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R2～R7計	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R2～R7計	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R2～R7計
盛岡市	1,890	1,952	1,701	1,619	1,490	1,474	10,126	3,148	3,365	3,670	3,747	3,818	3,738	21,486	-1,258	-1,413	-1,969	-2,128	-2,328	-2,264	-11,360
青森市	1,499	1,479	1,357	1,279	1,211	1,074	7,899	3,585	3,862	4,097	4,244	4,230	4,234	24,252	-2,086	-2,383	-2,740	-2,965	-3,019	-3,160	-16,353
八戸市	1,379	1,288	1,234	1,158	1,049	991	7,099	2,775	2,991	3,182	3,355	3,287	3,183	18,773	-1,396	-1,703	-1,948	-2,197	-2,238	-2,192	-11,674
秋田市	1,762	1,740	1,588	1,457	1,353	1,311	9,211	3,847	3,995	4,246	4,382	4,428	4,360	25,258	-2,085	-2,255	-2,658	-2,925	-3,075	-3,049	-16,047
山形市	1,656	1,598	1,603	1,408	1,336	1,258	8,859	2,918	2,960	3,128	3,242	3,262	3,364	18,874	-1,262	-1,362	-1,525	-1,834	-1,926	-2,106	-10,015
福島市	1,806	1,629	1,575	1,423	1,284	1,278	8,995	3,287	3,466	3,770	3,787	3,741	3,743	21,794	-1,481	-1,837	-2,195	-2,364	-2,457	-2,465	-12,799
郡山市	2,333	2,265	1,998	1,925	1,707	1,652	11,880	3,572	3,632	3,785	3,948	4,040	3,991	22,968	-1,239	-1,367	-1,787	-2,023	-2,333	-2,339	-11,088
いわき市	1,970	1,889	1,778	1,644	1,599	1,418	10,298	4,260	4,392	4,747	4,760	4,727	4,716	27,602	-2,290	-2,503	-2,969	-3,116	-3,128	-3,298	-17,304
仙台市（参考）	7,920	7,381	7,118	6,684	6,278	6,301	41,682	9,208	9,794	10,825	11,239	11,272	11,208	63,546	-1,288	-2,413	-3,707	-4,555	-4,994	-4,907	-21,864
平均値	1,787	1,730	1,604	1,489	1,379	1,307	9,296	3,424	3,583	3,828	3,933	3,942	3,916	22,626	-1,637	-1,853	-2,224	-2,444	-2,563	-2,609	-13,330

	出生数の増減率(%)							死亡数の増減率(%)							自然増減数(出生数－死亡数)の増減率 (%)						
中核市		R2→R3	R3→R4	R4→R5	R5→R6	R6→R7	R2→R7		R2→R3	R3→R4	R4→R5	R5→R6	R6→R7	R2→R7		R2→R3	R3→R4	R4→R5	R5→R6	R6→R7	R2→R7
盛岡市		3.28	-12.86	-4.82	-7.97	-1.07	-22.01		6.89	9.06	2.10	1.89	-2.10	18.74		12.32	39.35	8.08	9.40	-2.75	79.97
青森市		-1.33	-8.25	-5.75	-5.32	-11.31	-28.35		7.73	6.08	3.59	-0.33	0.09	18.10		14.24	14.98	8.21	1.82	4.67	51.49
八戸市		-6.60	-4.19	-6.16	-9.41	-5.53	-28.14		7.78	6.39	5.44	-2.03	-3.16	14.70		21.99	14.39	12.78	1.87	-2.06	57.02
秋田市		-1.25	-8.74	-8.25	-7.14	-3.10	-25.60		3.85	6.28	3.20	1.05	-1.54	13.34		8.15	17.87	10.05	5.13	-0.85	46.24
山形市		-3.50	0.31	-12.16	-5.11	-5.84	-24.03		1.44	5.68	3.64	0.62	3.13	15.28		7.92	11.97	20.26	5.02	9.35	66.88
福島市		-9.80	-3.31	-9.65	-9.77	-0.47	-29.24		5.45	8.77	0.45	-1.21	0.05	13.87		24.04	19.49	7.70	3.93	0.33	66.44
郡山市		-2.91	-11.79	-3.65	-11.32	-3.22	-29.19		1.68	4.21	4.31	2.33	-1.21	11.73		10.33	30.72	13.21	15.32	0.26	88.78
いわき市		-4.11	-5.88	-7.54	-2.74	-11.32	-28.02		3.10	8.08	0.27	-0.69	-0.23	10.70		9.30	18.62	4.95	0.39	5.43	44.02
仙台市（参考）		-6.81	-3.56	-6.10	-6.07	0.37	-20.44		6.36	10.53	3.82	0.29	-0.57	21.72		87.34	53.63	22.88	9.64	-1.74	280.98
平均値		-3.18	-7.27	-7.18	-7.42	-5.20	-26.86		4.64	6.85	2.74	0.22	-0.65	14.37		13.18	20.02	9.90	4.87	1.80	59.37

※住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯数調査　（各年1月～12月分）

(11) 東北中核市の転入数及び転出数比較

■ 盛岡市*(R7)*における転入数は*R6*から*+62*人、転出数は*R6*から*－258*人となったことで、社会増減数としては*－170*人となった。増減率*(R6→R7)*は*－65.31%*となり、ここ数年の状況から大きな改善がみられた。

■ 社会増減数の直近*5*年の増減率*(R2→R7)*は*－47.85%*であり、改善されているのは、盛岡市のみであった。

	転入数(人)							転出数(人)							社会増減数(転入数－転出数)(人)						
中核市	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R2～R7計	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R2～R7計	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R2～R7計
盛岡市	11,122	11,041	10,901	10,611	10,042	10,104	63,821	11,448	11,133	11,208	11,103	10,532	10,274	65,698	-326	-92	-307	-492	-490	-170	-1,877
青森市	7,000	6,814	7,065	6,823	6,576	6,317	40,595	7,783	7,780	7,869	7,912	7,600	7,318	46,262	-783	-966	-804	-1,089	-1,024	-1,001	-5,667
八戸市	6,274	6,165	6,794	6,376	5,972	6,004	37,585	6,770	6,803	6,998	7,191	6,781	6,555	41,098	-496	-638	-204	-815	-809	-551	-3,513
秋田市	8,493	8,351	8,754	8,391	7,984	7,874	49,847	8,515	8,361	8,732	8,544	8,471	8,617	51,240	-22	-10	22	-153	-487	-743	-1,393
山形市	7,536	7,502	7,639	7,619	7,258	7,363	44,917	7,598	7,524	7,950	7,908	7,449	7,540	45,969	-62	-22	-311	-289	-191	-177	-1,052
福島市	8,899	8,387	8,683	8,244	7,954	7,801	49,968	8,973	8,894	9,160	8,740	8,796	8,469	53,032	-74	-507	-477	-496	-842	-668	-3,064
郡山市	10,808	10,663	10,799	10,405	10,203	10,012	62,890	11,307	11,003	11,252	10,732	10,608	10,569	65,471	-499	-340	-453	-327	-405	-557	-2,581
いわき市	7,609	7,131	7,224	7,004	7,099	6,708	42,775	8,365	8,135	8,211	7,983	7,481	7,657	47,832	-756	-1,004	-987	-979	-382	-949	-5,057
仙台市(参考)	66,144	63,649	67,420	65,750	64,742	63,427	391,132	62,881	61,757	61,507	62,390	62,009	59,376	369,920	3,263	1,892	5,913	3,360	2,733	4,051	21,212
平均値	8,468	8,257	8,482	8,184	7,886	7,773	49,050	8,845	8,704	8,923	8,764	8,465	8,375	52,075	-377	-447	-440	-580	-579	-602	-3,026

	転入数の増減率(%)							転出数の増減率(%)							社会増減数(転入数－転出数)の増減率　(%)						
中核市		R2→R3	R3→R4	R4→R5	R5→R6	R6→R7	R2→R7		R2→R3	R3→R4	R4→R5	R5→R6	R6→R7	R2→R7		R2→R3	R3→R4	R4→R5	R5→R6	R6→R7	R2→R7
盛岡市		-0.73	-1.27	-2.66	-5.36	0.62	-9.15		-2.75	0.67	-0.94	-5.14	-2.45	-10.26		-71.78	233.70	60.26	-0.41	-65.31	-47.85
青森市		-2.66	3.68	-3.43	-3.62	-3.94	-9.76		-0.04	1.14	0.55	-3.94	-3.71	-5.97		23.37	-16.77	35.45	-5.97	-2.25	27.84
八戸市		-1.74	10.20	-6.15	-6.34	0.54	-4.30		0.49	2.87	2.76	-5.70	-3.33	-3.18		28.63	-68.03	299.51	-0.74	-31.89	11.09
秋田市		-1.67	4.83	-4.15	-4.85	-1.38	-7.29		-1.81	4.44	-2.15	-0.85	1.72	1.20		-54.55	-320.00	-795.45	218.30	52.57	3,277.27
山形市		-0.45	1.83	-0.26	-4.74	1.45	-2.30		-0.97	5.66	-0.53	-5.80	1.22	-0.76		-64.52	1,313.64	-7.07	-33.91	-7.33	185.48
福島市		-5.75	3.53	-5.06	-3.52	-1.92	-12.34		-0.88	2.99	-4.59	0.64	-3.72	-5.62		585.14	-5.92	3.98	69.76	-20.67	802.70
郡山市		-1.34	1.28	-3.65	-1.94	-1.87	-7.36		-2.69	2.26	-4.62	-1.16	-0.37	-6.53		-31.86	33.24	-27.81	23.85	37.53	11.62
いわき市		-6.28	1.30	-3.05	1.36	-5.51	-11.84		-2.75	0.93	-2.78	-6.29	2.35	-8.46		32.80	-1.69	-0.81	-60.98	148.43	25.53
仙台市(参考)		-3.77	5.92	-2.48	-1.53	-2.03	-4.11		-1.79	-0.40	1.44	-0.61	-4.25	-5.57		-42.02	212.53	-43.18	-18.66	48.23	24.15
平均値		-2.49	2.73	-3.52	-3.64	-1.43	-8.20		-1.59	2.51	-1.78	-3.42	-1.06	-5.31		18.59	-1.62	31.78	-0.22	4.02	59.58

※住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯数調査　（各年1月～12月分）

2　（参考）若年層の人口動態に関する調査結果（中間報告）

(1) 調査の概要

■ 本市の人口動態は進学・就職期における若年層の転出超過が顕著であり、社会減に大きな影響を与えている。

■ 若年層のUターンに関する意識調査について、令和６年度から段階的に進めてきたところであり、令和８年度は実際に首都圏に転出した若年層にインタビュー調査を行うことで、アンケート調査では把握に至らなかった転出の背景や要因、Uターンに関する意識の変化などを明らかにし、今後の人口対策に資する施策を展開するうえで参考とするもの。

令和６・７年度調査結果概要

令和６年度

■ 調査
岩手県立大学との協働研究にて、首都圏在住者等を対象とするアンケート調査「盛岡市へのＵターンに関する意識調査」を実施。

■ 結果
転出理由として「市外に希望する就職先があった」という回答が最も多かった。さらに、就職先に求めたものは何かという問いに対しては「職種・仕事内容」「給料が良い」という回答が多いことが分かった。

令和７年度

■ 調査
令和６年度調査結果をクロス集計により分析を行うとともに、具体的な転出理由等について把握するため、県内の大学生に対し、ヒアリング調査を実施。

■ 結果
柔軟な働き方を重視する意識や「いずれは盛岡へ戻りたい」と考える学生の存在が明らかとなったほか、市内企業の就職情報が探しにくいという意見があった。

残された課題

令和７年度調査において「いずれは盛岡へ戻りたい」との意向を持つ学生が一定数いることが把握できたものの、実際にＵターンをする者は少ない状況にある。
転出後、首都圏での暮らしの中で「盛岡へ戻らない（戻れない）」へと意識が変わり、Ｕターンに至らなくなるのはなぜか。その契機となる理由や経緯、転機は把握できていない。

令和８年度調査概要

目的

これまでの調査結果の背景にある理由・経緯・転機を当事者に対するインタビュー調査を通じて把握・分析をすることで、本市の社会減対策の進展に資する。

対象・手法

- 令和６年度に行ったアンケートでは、今後のＵターンの意向として「戻りたい」「できれば戻りたい」が約４割であった。
- 令和７年度に行った年齢別クロス集計の結果によると、25歳以降はUターンに否定的な傾向となる。
- Uターンに否定的な意識変容の引き金となる要因を把握するため、首都圏在住の若年層を対象としたワークショップ形式のインタビュー調査を実施。

インタビュー概要

- 日時：令和８年８月29日（土）
- 場所：移住・交流情報ガーデン（東京都）
- 対象：盛岡市又は岩手県内市町村に居住歴のある首都圏在住の若年層12名

(2) 調査の視点

■ 令和６・７年度に実施したアンケート調査や県内大学生へのインタビュー調査により、転出理由の傾向などを把握することができた。

■ その中で、県内大学生へのインタビュー調査において「いずれは盛岡に戻りたい」と考える学生が一定数存在したことから、Uターンに至らない事由が転出後に生じるものと仮定し、転出理由の背景やＵターンに関する意識の変化が生じる要因、さらには、Uターンを後押しするためにはどのような支援が必要かなど、これまでの調査を深掘りするもの。

既存の調査結果

1.　本市が令和６・７年度に実施した意識調査

- 転出理由として、「市外に希望する就職先があった」と回答した割合が43.3%で最多となっており、男女を問わず、希望する就職先を求めて転出する傾向にある。
- 「市外に希望する就職先があった」と回答した方のうち、就職先に求める条件として「職種・仕事内容」と「給料が良い」回答した割合が多い。
- 本市へのUターン意向は、男女ともに25歳を境に否定的な割合が多くなる傾向にある。

2. 国における先進調査

内閣府の「令和4年度 性別による無意識の思い込み（アンコンシャス・バイアス）に関する調査研究」では、若年層が地方から首都圏へ移り住む要因の一つとして、固定的な性別役割分担意識（アンコンシャス・バイアス）を挙げている。

深掘りする視点

1.　首都圏の企業を選択する理由

市内には幅広い就職先があるにもかかわらず、なぜ就職先の選択肢に市内企業が入らないのか。
職種や給料のほかに、これまでの調査では把握しきれていない、重視されている就業条件が背景にあるのではないか。

2.　Uターン意向が失われる契機

Uターンに対する意向はなにをきっかけに失われるのか。

3.　アンコンシャス・バイアスの影響

アンコンシャス・バイアスが、本市の社会動態にどのような影響を与えているのか。

(3) 総括（中間報告）

- 今回の調査により、若年層の転出は必ずしも「盛岡に働く場がない」「地元への愛着が薄い」といった理由ではなく、首都圏の方が仕事や暮らしの選択肢が広いことによって生じていることがうかがえた。
- 首都圏での生活が続くほどその暮らしに馴染み、今の生活と引き換えに盛岡での生活を選択する決断のハードルが高まっていくことが明らかとなったほか、転出者を含む都会人への心理的な壁を少なからず感じる経験が、Uターンをためらう要因となり得ることが示された。

調査結果及び参加者の主な声（要旨）

視点１ 首都圏の企業を 選択する理由	職種が多く選択の幅が広がるというだけではなく、成長意欲を満たすことができる環境、柔軟な働き方に対する配慮やその後の転職可能性まで含めて、**仕事とキャリアの両面で選択肢を増やせる場所として首都圏の企業が選ばれている**実態がある。若年層に対し、市内でも理想とするキャリアを実現できる道筋を示す必要がある。 「やりたい仕事が、東京にしかなかった」「リモートやフレックスなど柔軟に働ければ、子育てもしやすい」 「岩手を盛り上げる仕事に就きたかったが、まず東京で力をつける道を選んだ」
視点２ Uターン意向が 失われる契機	都会での生活に大きな不利益がなければ、暮らしに慣れるにつれて、**転居を伴う大きな決断に踏み切る理由は弱まっていく**ため、Uターンの意向が残るうちに、盛岡で働き暮らすことを考えるきっかけを提供する必要がある。また、二拠点居住や副業を通じて市内企業と関わる機会など、Uターンに至る前から盛岡とつながり続けられる選択肢を広げることが、将来的な盛岡への移住者の創出につながる。 「戻る気持ちが、じわじわとなくなっていく感じ」「友人も皆こっちに集まって、生活にも慣れてしまった」 「大きなデメリットがなければ、今のままでいいと思ってしまう」「東京の子育て支援はとても充実している」
視点３ アンコンシャス・ バイアスの影響	明確な差別を感じることはないが、**狭いコミュニティの息苦しさや「東京の人は」といった都会と地方の線引き**として表れることで、転出意向を高めるほか、Uターンをためらわせる要因となり得る。首都圏等で得た経験など、多様な価値観を歓迎する姿勢を示し、若年層が安心してUターンすることができる環境を整える必要がある。 「あからさまな差別を受けたことはないけど、『東京の人は』と線を引かれるような息苦しさは感じる」 「コミュニティが狭く、良くも悪くもクローズドで開かれていない」

(4) 他自治体の取組事例

■ ここでは、「企業を知り・出会う機会の提供」「地域との関わりの拡充」「多様な価値観を受け入れる機運の醸成」という３つの観点から、先行事例を紹介する。

企業を知り・出会う機会の提供



- **自治体名**
  滋賀県
- **取組趣旨**
  「事業開発」「社会貢献」などテーマ別で広報し、学生が選んだテーマに応じて地元企業とマッチングする「ランダムマッチング」を導入。企業情報だけでは選ばれにくい地元企業と学生をつなぎ、企業の仕事の中身に触れる機会を創出する。
- **成果等**
  県内外から多くの学生が参加。内閣府の地方創生インターンシップの注目事例として紹介されている。

地域との関わりの拡充



- **自治体名**
  新潟県新潟市
- **取組趣旨**
  都心部で副業・兼業やプロボノを希望する人材と、市内事業者が抱える課題解決プロジェクトをマッチング。市内事業者には外部人材活用の利点を周知し、副業等人材を受け入れる機運を醸成するとともに、将来的な移住・関係人口の創出を目指す。
- **成果等**
  課題解決プロジェクトの最終報告会を開催（西洋梨の認知度向上、商店街再興など具体テーマで実施）。

多様な価値観を受け入れる機運の醸成



- **自治体名**
  福岡県北九州市
- **取組趣旨**
  働く女性をはじめ幅広い女性の意見聴取・アンケートを通じて、企業のアンコンシャス・バイアスや職場環境の課題を整理。官民連携で課題解決に取り組み、多様な価値観が受け入れられると実感できるまちを目指す。
- **成果等**
  令和６年に社会動態が60年ぶりにプラスへ転換。